

地域協力おこし

かわら版
5月号

活動報告会を開催

地域おこし協力隊活動報告会にお越しいただきましたみなさん、ありがとうございます。協力隊の活動や業務内容について、少しでも知っていただきたく、この報告会を開催いたしました。直接皆さんと、顔を合わせて交流ができたこと、心より感謝申し上げます。

報告会で使用した資料は、村のホームページに掲載しましたので、ぜひご覧ください。



今年度から着任した三名の協力隊は、初めての報告会となりました。各隊員の自己紹介や、「どうしてこの北塩原村に移住してきたのか」など、一人一人の人間が伝わるような内容で発表を行いました。私たち協力隊は、北塩原村が好きで、「大自然」やそこに住む「人」の魅力に惹かれてこの村に移住してきました。地域の皆さんが取り組んでいることや、イベント、村での暮らし等、教えていただきたい事がたくさんあります。これからもっと親交を深めていきたいので、どうぞよろしくお願いします。



報告会資料は
↓こちら↓



地域おこし協力隊って？

都心から地方へ移住し、新たな地域の担い手として農業・事業継承・情報発信などの「地域協力活動」を行いながら、村への定住を目指す取り組み。任期はおおむね1年～3年です。北塩原村では現在5名の協力隊が活動しています。

いわき視察研修

元・田人町地域おこし協力隊の下條さんが運営する「田人ワーク・キャンプビレッジ」と元・下川町地域おこし協力隊の三戸さんが開業した「クラフトビール製造所」に視察へ行ってきました。

一日目は田人町。こちらでは『自然とつながる、地域とつながる。未来へつなげる里山暮らし』をキャッチフレーズに地域の「中に住む人」と「外から来る人」とで、一緒に町づくりを行っていました。私たちもボランティアをしながら、協力隊の活動についてや、卒隊に向けた動きなどに対して、意見交換やアドバイスを頂きました。新しい事に挑戦する下條夫妻の姿に、隊員全員がとても良い刺激を受けました。

苗床を作るために 草刈りとゴミ拾い

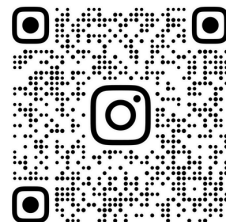


地域の子供たちや住民の方と、積極的に関わりながら活動を続けているおふたりのように、私たちも北塩原村での暮らしを楽しみながら、地域の方と協力し合い、村を盛り上げていけるように活動していきます。

二日目は下川町。こちらの「SANDI BREWERY」では、新たな特産品の創出と定着を目指し、クラフトビールを製造していました。新設された製造所と原材料となる、大麦やホップ畑の見学をさせていただきました。三戸さんは、下川町で一度途絶えた「ホップ」を復活させ、地元の方々の手を借りながら手探りで栽培を行っているそうです。北塩原村でも昔ホップを栽培していた話を聞き、小藪隊員がぜひ再開させたいと、特に熱心にお話を伺いました。



協力隊Instagramもぜひ
チェックしてみてください



VILL.KITASHIOBARA.OKOSHI

むらびとの魅力や
協力隊の写真・動画を
アップしています

教えてくなんしょ

むらぐらし



北塩原村のみなさんが、村でどんな暮らしをしているのか教えていただき、その魅力を発信していきたいと思い、四月から村民の方へ取材を始めました。

まずは、北塩原村で美味しい食べ物や、特産品を育てている農家さんへお話を伺いに行きました。お米、きゅうり、酒米、そしてタバコ。初めて農業に触れ、取材へ行く度にワクワクしています。取材の詳しい内容や写真・作業動画は、地域おこし協力隊のインスタグラムにアップしていますので、ぜひご覧ください。

まず大塩地区の米農家さんへ。種まきから取材させていただき、作業の内容を何度も丁寧に教えていただきました。ご家族や地域の方と協力しながら、美味しいお米が作られています。

米



写真や動画はこちらから↓
VILL.KITASHOBARA.OKOSHI

タバコ



きゅうり



関屋地区では、きゅうり農家さんへ。きゅうりの苗を植えるところを見せていただき、ご夫婦の息ぴったりな作業姿がとても素敵でした。遠く離れた場所に住む娘さんから、動画にコメントをいただきました。SNSを通して、離れて暮らす家族が繋がって、私もとても嬉しかったです。

樟地区では、タバコ農家さんへ。秘密基地のような場所にある畑で、苗を植える様子から取材させていただきました。とても明るいご夫婦で、会う度にパワーをもらっています。

みなさん、農作業で忙しいはずなのに、優しくお話を聞いてくださり、何度も取材をさせてくださいました。『農作物を「美味しい」と食べてくれるのが嬉しい』という言葉を聞いて、こんなに優しい方々が愛情たっぷりで育てているから、美味しいんだと生産者さんの想いを感じました。畑や田んぼを見る度に、農家さん方の顔が浮かび、今までとは違う特別な気持ちになりました。

みなさんの北塩原村での暮らしをぜひ教えてください！！

〇〇を育てているよ
〇〇を収穫するよ



地域でこんな行事があるよ
学校でこんな作ったよ
これは北塩原村の伝統だよ

企画室 野崎(0241-23-3112)まで
どんな事でもお気軽にご連絡ください

移住者が感じる北塩原村の魅力を、楽しんでいただけたら嬉しいです。お忙しいところ、取材やお写真を撮らせてくださったみなさん、ありがとうございます。

初めての声かけは、私にとってはとても勇気のいる事です。北塩原村の皆さんは温かく迎えてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。どんどん村民の方へ声をかけ、取材に行きたいと思いますので、みなさんよろしくお願ひします。

初めての方には、私にとってはとても勇気のいる事です。北塩原村の皆さんは温かく迎えてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。どんどん村民の方へ声をかけ、取材に行きたいと思いますので、みなさんよろしくお願ひします。

むらびと1年生

VOL.2

ブランド戦略担当 野崎 瞳

私は子供の頃から「白いごはん」が大好きです。今回農家さんへの取材で、自分が大好きなお米について、初めて知る事がたくさんあり、とても楽しかったです。きゅうりもタバコも酒米も、全てが私にとって初めての事ばかりで、お話を聞く度に驚きの連続でした。取材の後、植えた苗はどうなっているのか、ずっと気になってソワソワしています。